

令和元年度

事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

# 令和元年度事業報告

急速な高齢化の進展、疾病構造の変化等、県民の健康を取り巻く環境は大きく変化し、健康づくりに対するニーズも、より一層高度化、多様化する中、兵庫県では、「健康づくり推進条例」や「受動喫煙の防止等に関する条例」の制定のほか、企業従業員やその家族を対象とした健康づくりを推進するため「健康づくりチャレンジ企業」制度を創設し、登録企業を支援する「健康づくりサポート企業」との協定締結を行うなど、県民の健康づくりを社会全体で推進する取り組みを強化している。

当財団においては、公益財団法人としての役割をより積極的に果たしていくため、保健医療を取り巻く動向や県民の健康ニーズを的確に捉えつつ、「県民の総合的な健康づくりのパートナー」を目指して、兵庫県や関係団体との連携の下、次の三つを大きな柱として事業を推進した。

また、経営基盤を確たるものにするため、「兵庫県健康財団経営計画」に基づき、経営改善を推進した。

しかしながら、年度末からの新型コロナウイルスの感染拡大により、各種イベント及び健診の中止や延期が発生しており、今後の財団運営に大きな影響を与えることが想定される。

## 1 健康づくり実践活動の支援

個人の努力とあわせて社会全体で健康づくりを支援する「健康ひょうご 21 県民運動」について、「食の健康」「からだの健康」を重点活動目標に、「たばこ対策」「歯及び口腔の健康」「こころの健康」等を活動目標に掲げ、参画団体、健康づくり推進員等との協働により、健康づくりの基盤となる「健康チェック」の実践、生活習慣の見直し等を通じた健康づくり運動を全県内で展開したほか、「健康づくり推進員活動支援ガイド」や「健康ひょうご 21 県民運動ポータルサイト」の活用を通して推進員の活動の実践と交流を促進するとともに、県民への健康づくり情報の提供や地域の健康づくり運動の拡充を図った。

また、企業と協働した従業員や家族の健康づくり及び幼稚園、保育園等と連携した幼児と保護者等の健康づくりに取り組み、県民総ぐるみの健康づくりを推進した。

## 2 疾病予防等の普及啓発

県民の健康づくりに関する有用な情報や、財団の事業内容を幅広く紹介するため、広報紙「プレベ」やホームページによる広報を行ったほか、生活習慣病、結核、がん等の予防をはじめ、母子保健、臓器移植や献血に関する正しい知識の普及と意識の向上及び実践を目的として、講演会やセミナーの開催、ポスター掲示や街頭活動によるキャンペーン事業等の啓発活動を行うとともに、健康づくりや疾病予防の各分野における功労者の表彰を行った。

また、健診、健康づくりに携わる専門技術者に対する技術講習会の開催や、がん等の医療に携わる専門職が行う研究の奨励を行い、医療技術の向上の支援に努めた。

## 3 健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

受診者の視点に立った「安全・安心でかつサービスの行き届いた健康診断」を提供するため、健診精度の維持・向上に努めつつ、県内全域の地域・職域・学校において幅広い年齢層を対象に健診・保健指導事業を実施するとともに、企業の従業員を対象としたストレスチェック及びその結果に基づく評価を実施した。

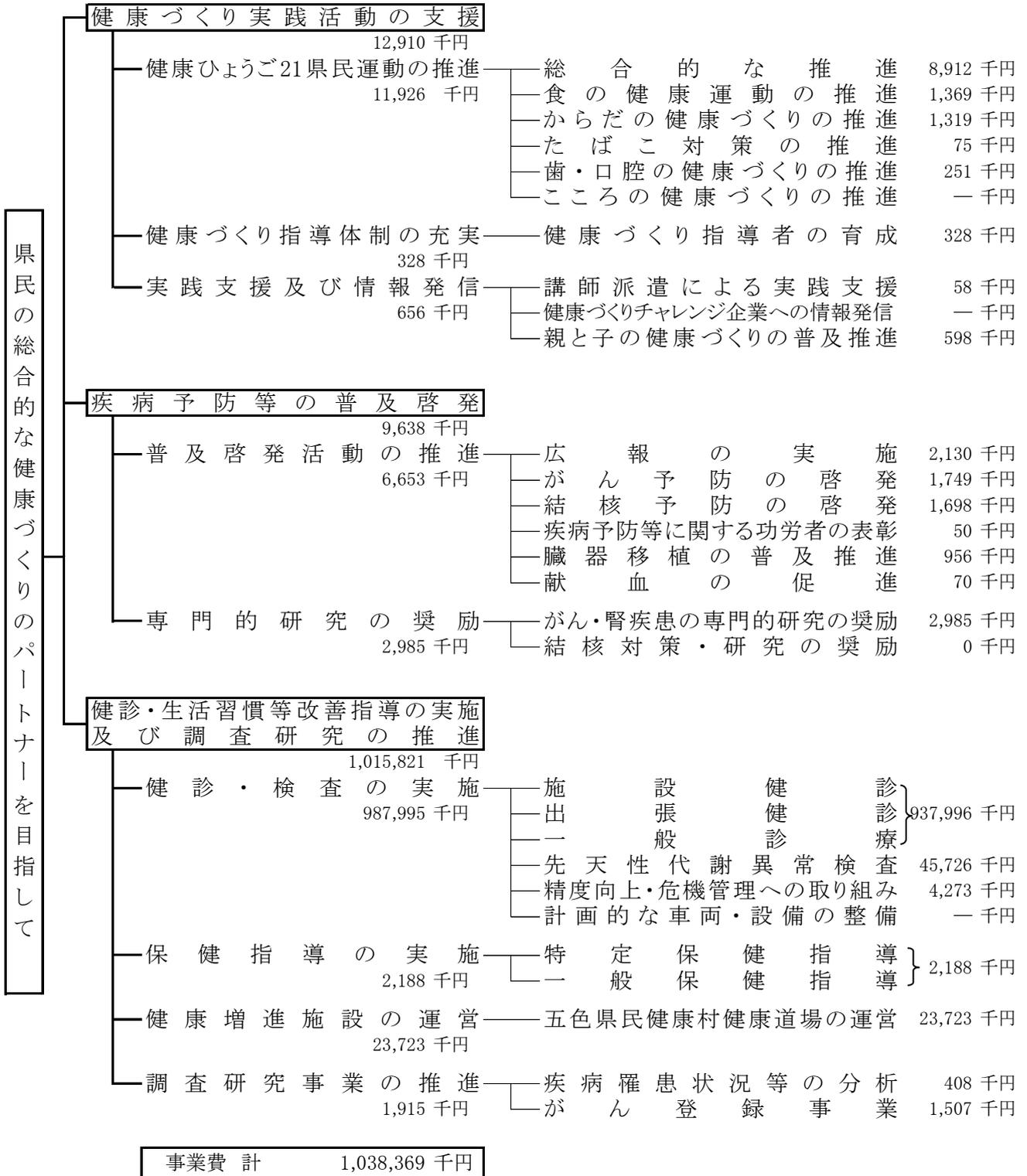
また、五色県民健康村健康道場においては、リピーター割引クーポン券の発行や年末年始営業等のほか、ホームページ等を活用して広く広報を行い、県民のこころと身体の健康づくりを支援する実践施設として利用促進を図った。

さらに、公益財団法人として県内の公衆衛生の向上に寄与するため、健診や生活習慣改善指導事業等の実施状況及び精密検査受診者の追跡調査により得られたデータを集計し、「事業年報」として情報発信するとともに、県内のがん罹患情報を収集し、兵庫県のがん予防対策の基礎資料として活用を図った。

加えて、健診事業等の実施にあたっては、実施体制の見直しによるコスト削減や医療資源の効率的活用を推進し、競争力の強化を図るとともに、涉外計画に基づき顧客の確保に努め、経営改善に取り組んだ。

# 令和元年度事業体系

(人件費・減価償却費を除く)



# I 健康づくり実践活動の支援

## 1 健康ひょうご 21 県民運動の推進

### (1) 総合的な推進

#### ① 健康ひょうご 21 県民運動推進会議総会等の開催（県補助事業）

全県の参画団体が一堂に会し、重点活動目標や事業計画を決定するとともに、健康づくりの普及・実践を促進するため、健康ひょうご 21 県民運動推進会議総会を開催した。

また、全県の事業実施状況を共有し、次年度の目標等を検討するため各都会長及び各地域会議会長等を構成メンバーとする合同会議を開催した。

総 会 : 令和元年 5 月 30 日（木）

合同会議 : 令和 2 年 3 月 12 日（木）（書面開催）

#### ② 健康ひょうご 21 県民運動推進フォーラムの開催

全県の参画団体を含め広く県民に参加を呼びかけ、県民行動指標を確認し、健康づくりの普及・実践を促進するため、健康ひょうご 21 県民運動推進フォーラムを開催した。

開催日・場所	内 容	参加人数
5 月 30 日（木） 神戸市産業振興センター	・健康づくり等に関する表彰 ・健康ひょうご 21 県民運動について ・講演「健康寿命を延ばす～食生活からの認知症予防～」 国立研究開発法人国立長寿医療センター老年学・社会科学 研究センターNILS-LSA 活用研究室長 大塚 礼 氏	346 人

#### ③ 健康ひょうご 21 県民運動地域会議総会等の開催（県補助事業）

地域の課題に応じた重点活動目標や事業計画を決定するとともに、地域における健康づくりの普及・実践を促進するため、各地域で健康ひょうご 21 県民運動地域会議総会及び講演会等を開催した。

地 域	開催日・場所	講演会等の内容	参加人数
阪神南	7 月 18 日（木） 尼崎商工会議所	「安全な食品について」考える	106 人
阪神北	6 月 27 日（木） ソリオホール	「今日から始めるアクティブライフ」	130 人
東播磨	7 月 4 日（木） 明石市生涯学習センター	「今日から始めるアクティブライフ」	90 人
北播磨	6 月 19 日（水） 三木市立教育センター	「認知症という病気との付き合い方～予防と早期発見、診断後の適切なケア（介護）～」	202 人
中播磨	7 月 11 日（木） 姫路市医師会館	「シニア世代の食事と栄養について」	125 人

地 域	開催日・場所	講演会等の内容	参加人数
西播磨	6月 28日 (金) 西播磨文化会館	「健康長寿をめざす食べ方～食べるタイミングと食べる順番とは～」	157人
但 馬	6月 27日 (木) 県立但馬長寿の郷	「気づくことでバランスアップを！」 ～姿勢、運動習慣、生活習慣などの気づきのヒントから自分を見直しバランスの良い生活を送りませんか～」	60人
丹 波	7月 4日 (木) 丹波の森公苑	「フレイルの治療と予防」	117人
淡 路	7月 18日 (木) 広田地区公民館	「美味しく・健康に ～今日から我が家はレストラン!～」	86人
計			1,073人

#### ④ 健康づくり推進員の設置・養成（県補助事業）

##### ア 健康づくり推進員の設置・養成

健康づくりの担い手を養成するため、県民運動参画団体から推薦を受けた人を対象に各地域で研修会を11回開催し、その修了者に健康づくり推進員（健康ひょうご21県民運動推進員・8020運動推進員、食の健康運動リーダー）を委嘱した。

区 分	人数(R2.4.1 現在)	うち新任者数
県民運動推進員・8020運動推進員	1,850人	226人
食の健康運動リーダー	910人	50人

##### イ 健康づくり推進員フォローアップ研修会等の開催

健康づくり推進員の資質向上を図るとともに、活動に関する意見交換や推進員相互の交流を促進するため、推進会議、各地域会議において、フォローアップ研修会等を開催した。

区 分	開催回数	参加人数
推進会議	2回	395人
地域会議	8回	726人

##### ウ 健康づくり推進員による実践活動

健康づくり推進員を中心として地域における健康づくりの普及や実践活動を展開したほか、幼児の保護者等に対する調理実習、“食の健康”運動キャンペーンへの協力など、食の健康運動の推進活動を行った。

区 分	取組件数	延参加人数
県民運動推進員・8020運動推進員	24,535件	551,883人
食の健康運動リーダー	3,352件	109,093人

## エ 健康づくり推進員の活動支援

県民運動の概要、取組事例、健康情報の紹介とともに、日頃の健康チェック及び健康づくり活動について記録ができる「健康づくり推進員活動支援ガイド」を活用し、健康づくり推進員の活動の支援と活性化を図った。

### ⑤ 参画団体の活動支援

#### ア 健康マイプラン実践講座（県補助事業）

県民運動参画団体等が実施する健康づくりの講演会や研修会等に登録講師（専門人材）を派遣し、参画団体等における健康づくりの実践を支援した。

派遣回数	参加人数
65回	5,496人

※（6）こころの健康づくりの推進に係る実践講座を含む。

#### イ 地域実践活動への助成

県民運動参画団体等が行う有意義な健康づくり実践活動に助成し、地域における県民の健康づくりの実践活動を支援した。

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	計
件数	2	5	4	5	2	3	1	—	3	25
助成額 (千円)	80	184	200	165	73	150	33	—	150	1,035

### ⑥ 働き盛り世代の健康づくりの推進

企業や団体等を対象に、県民運動推進フォーラム等の各種イベントを通じて、健康課題の多い働き盛り世代の健康づくりを推進した。

### ⑦ 健康づくり情報の発信

参画団体や健康づくり推進員の実践活動、健康づくりに関する情報等を財団広報誌「プレベ」に掲載し、参画団体等の活動を支援したほか、9地域会議の活動等の情報を支部だよりで発信した。

また、健康ひょうご21県民運動のポータルサイト内の「県民運動のひろば」において、参画団体や健康づくり推進員の健康づくりの取組みを紹介するとともに、健康体操の動画公開、認知症リスク評価ツールの追加、最新の健康情報の発信など、情報提供を行った。

## (2) 食の健康運動の推進

### ① 食の健康運動リーダーの設置

推進員の中から「食の健康運動リーダー」を委嘱し、食の健康運動を推進した。

② 食生活改善事業（ヘルシー弁当キャラバン）の実施

働き盛り世代の昼食改善による健康づくりを目的に、希望する県内企業の従業員を対象に、ヘルシー弁当を用いたランチセミナーを実施した。

実施企業等	実施日	参加人数	内 容
姫路市 A 社	6 月 22 日（土）	69 人	エネルギー、食塩、野菜量などを調整したヘルシー弁当を喫食しながら、管理栄養士が、バランスのよい食事について講話を行った。
神戸市 B 社	7 月 17 日（水）	29 人	
神戸市 C 健保	7 月 26 日（金）	30 人	
計		128 人	

③ 食育コンサートの開催

県内各地域で幼稚園・保育所等の幼児や保護者等を対象に、「大豆のうた」や踊り、クイズ等を通じて、早寝早起き、朝食の摂取による規則正しい食生活やバランスのとれた食事の大切さ、栄養源の豊富な野菜や大豆の摂取などを啓発した。

加えて、新たに歯みがき指導を取り入れ、幼児、保護者、保育関係者へ歯及び口腔の健康づくりについての普及・啓発を行った。

担当支部	開 催 日	実 施 団 体	参加（人）		
			幼児等	保護者等	合 計
神 戸	11 月 5 日（火）	神戸市立港島幼稚園	77	20	97
阪神南	9 月 3 日（火）	芦屋市立伊勢幼稚園	82	44	126
阪神北	11 月 27 日（水）	さんだのもり保育園	80	25	105
東播磨	10 月 31 日（木）	加古川市立平岡東幼稚園	70	65	135
北播磨	11 月 22 日（金）	加茂こども園	115	23	138
中播磨	10 月 24 日（木）	認定こども園うさぎ	148	25	173
西播磨	9 月 5 日（木）	姫路市立城陽幼稚園	69	15	84
但 馬	10 月 17 日（木）	宝樹保育園	83	27	110
丹 波	11 月 21 日（木）	丹波市山南子育て学習センター	158	47	205
淡 路	9 月 11 日（水）	東浦子育て学習センター	61	59	120
計	10 回		943	350	1,293

(3) からだの健康づくりの推進（県補助事業）

メタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームの予防を目指し、運動の実践と習慣化を促進するための学習会を開催し、今より 10 分多く毎日からだを動かす+10 分（プラス・テン）、「“脱” 座り過ぎ生活」の啓発等を図り、からだの健康づくりを推進した。

学習会開催回数	参加人数
29 回	2,718 人

#### (4) たばこ対策の推進

「受動喫煙の防止等に関する条例」の趣旨を踏まえ、広報資材の配布、研修会等を通じて、たばこによる健康への悪影響、COPDなどの啓発、妊産婦や未成年の喫煙防止等を推進した。

研修会開催回数	参加人数
14回	925人

#### (5) 歯及び口腔の健康づくりの推進（県委託事業）

8020運動推進員による啓発活動をはじめ、各種講演会や啓発資材の配布等を通じて、乳幼児期・学齢期・成人期・高齢期のう蝕予防や歯周病予防、歯の喪失防止に向けた8020運動を推進した。

また、8020運動推進員の資質向上を図るため、研修会を開催した。（併せて口腔がんに関する情報提供を実施。）

研修会開催回数	参加人数
11回	725人

#### (6) こころの健康づくりの推進

健康フォーラムの開催や健康マイプラン実践講座の実施等により、笑いや認知症予防などのこころの健康づくりを推進した。

実践講座等実施回数	参加人数
9回	649人

## 2 健康づくり指導体制の充実

### (1) 健康づくり指導者の育成

#### ① 健康運動指導士等専門技術者の資質向上

健康運動指導士、健康運動実践指導者等の健康づくり支援に携わる専門職に対し、資質向上及び資格更新に必要な知識、技術の習得を図るため、登録更新研修会を開催した。

開催日・場所	テーマ・内容	参加人数
3月1日(日) 健康財団	メインテーマ 「健康づくりの運動の基礎と効果的な応用」 講義・実技 「運動処方基礎と病態別運動処方」、「ストレッチ運動の基礎と応用」、「病態別健康づくり運動処方プログラムの実際」、「動作メカニズムから考える効率の良い体の使い方とストレッチ運動」	16人

## ② 健康づくり支援者の育成

保健師、管理栄養士、健康運動指導士等の健康づくり指導者や介護分野等で健康づくり支援に携わる専門職等の資質向上を図るため、身体活動（生活活動、運動）指導を中心とした最新の知識・技術を提供するスキルアップ研修会を開催した。

開催日・場所	テーマ・内容	参加人数
11月16日 (土) 健康財団	メインテーマ 「健康に無関心な人が特に意識することなく健康になる仕掛けと仕組みについて」 講義 「新しい健康づくりの進め方」「健康無関心層へのアプローチ」 実技・実習 アイスブレイキング「実は〇〇をやっていました」 アイデアワークショップ「健康づくり 誰にどう支援する？」	31人

## 3 実践支援及び情報発信

### (1) 講師派遣による実践支援

市町、地域団体、事業所等が実施する健康づくり教室、イベント等に、当財団の専門スタッフ(保健師、健康運動指導士、管理栄養士、臨床心理士等)を講師として派遣し、講演や実技指導を実施した。

派遣回数	指導延人数
38回	2,802人

### (2) 健康づくりチャレンジ企業への情報発信

積極的に従業員や家族の健康づくりに取り組もうとする「健康づくりチャレンジ企業」に対し、兵庫県と締結した「健康づくり応援協定（健康づくり推進サポート企業）」に基づき、メールマガジンの定期発行や財団ホームページでの健康情報の提供を行った。

・メールマガジンの発行 12回

### (3) 親と子の健康づくりの普及推進（母子衛生研究会委託事業）

妊娠、出産、育児等に関する知識と実践の普及を図るため、主に初めて子どもを持つ夫婦を対象に、西宮市との共催により育児セミナーを開催した。

開催日	場 所	参加組数
6月22日(土)	なるお文化ホール	199組
9月28日(土)	なるお文化ホール	181組
12月15日(日)	なるお文化ホール	208組
合 計	3回	588組

## II 疾病予防等の普及啓発

### 1 普及啓発活動の推進

#### (1) 広報の実施

##### ① 広報誌「プレベ」の発行

健康づくりに関する情報等の発信や財団事業を効果的に広報するため、広報誌「プレベ」を作成し、関係機関を通じ広く県民に配布した。

- ・発行時期 9月・3月（計2回）
- ・発行部数 22,000部
- ・配布先 行政機関、健診顧客、健康ひょうご21県民運動参画団体及び県民運動推進員、関連イベント参加者、神戸市営地下鉄各駅等

##### ② 団体の会報、広報紙等への情報提供

医療保険者等が発行する会報や広報誌に健康に関する情報を定期的に掲載することにより、県民の健康づくりを支援した。

- ・団体数 4団体
- ・掲載回数 延べ14回

##### ③ 健康づくり関連イベント等への参画

各種団体等が実施するイベントに参画し、健康づくり等の普及・啓発に取り組んだ。

実施日	イベント名	主催	会場	内容
10月3日 (木)	兵庫県生協大会	兵庫県生活協同組合連合会	県民会館	結核予防の普及啓発 がん検診の受診勧奨
10月10日 (木)	阪神シニアレジャ祭り	阪神シニアレジャ	宝塚リホール	結核予防の普及啓発 がん予防の普及啓発
11月16日 (土)	いなみ野祭	兵庫県いなみ野学園	兵庫県いなみ野学園	結核予防の普及啓発 がん予防の普及啓発

##### ④ ホームページによる情報発信

健診等利用者の拡大と事業活動の広報強化を図るため、スマートフォンにも対応したホームページの全面リニューアルを行い、人間ドックメニューの紹介や講演会等のイベント開催、健康コラムの掲載等、財団の事業内容や健康づくりに役立つ情報を発信した。

##### ⑤ マスコットキャラクターの活用

当財団のキャラクター「けんぞうくん」の着ぐるみを製作し、健康づくりや疾病予防、健診受診等のPR、啓発活動に活用した。

## (2) がん予防の啓発

### ① がん征圧月間行事の実施

がん征圧月間（9月）の期間中、がん予防等について広く県民に意識啓発を行った。

#### ア ポスターによる普及啓発

日本対がん協会が作成した「がん征圧月間ポスター」を行政機関、医療関係団体等に配布した。

#### イ 横断幕・懸垂幕等の掲示

兵庫県庁及び財団荒田事務所において横断幕・懸垂幕を掲示し、征圧月間の周知を図った。

#### ウ がんセミナーの開催

がんについての正しい知識の普及、早期発見及び早期治療の認識を高めるため、セミナーを開催した。

開催日・場所	内 容	参加人数
9月20日(金) 神戸ポートピアホテル	講演「大切な人の『思い』とともに」 公益財団法人清水健基金代表理事/キャスター 清水 健 氏	355人

※ 結核セミナーと併催

### ② がん・生活習慣病講演会の開催

生活習慣病予防に関する理解を深めるとともに、健康づくりの意識を高めるため、講演会を開催した。

開催日・場所	内 容	参加人数
2月4日(火) 兵庫県医師会館	講演「元気で長生きのために脳・心血管の病気を予防しよう～動脈硬化はなぜおこる？その原因と治療～」 神戸大学医学部附属病院長 平田 健一 氏 講演「大人のがん教育」 東京大学医学部附属放射線治療部門長 中川 恵一 氏	340人

### ③ がん征圧寄附金募集活動等による啓発の実施

がん予防のための普及・啓発活動や、若手研究者へのがん研究助成の原資とするための寄附金を募るとともに、同活動を通じてがん検診の受診勧奨などの啓発活動を展開した。

件 数	金 額
86件	1,164,028円

### ④ がん検診啓発及びがん患者支援の実施

がん患者支援・がん検診啓発チャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ」に参画し、その活動を支援した。

実施日	イベント名	主催	会場	内容
6月8日(土) ～9日(日)	リレーフォーライフ・ジャパン 神戸 2019	リレーフォーライフ神戸 実行委員会、 日本対がん協会	神戸市みなとの もり公園	がん啓発講演会 サバイバーウォーク がん予防普及啓発
9月7日(土) ～8日(日)	リレーフォーライフ・ジャパン 芦屋 2019	リレーフォーライフ芦屋 実行委員会、 日本対がん協会	芦屋市 川西運動場	がん啓発講演会 サバイバーウォーク がん予防普及啓発

※ 例年参画しているピンクリボンフェスティバルは台風により中止

### (3) 結核予防の啓発

#### ① 結核予防週間行事の実施

結核予防週間(9月24日～30日)の期間中、結核予防について広く県民に意識啓発を行った。

#### ア ポスター等による普及啓発

結核予防会が作成したポスターやパンフレット等を婦人会、医療機関、地方公共団体等に配布したほか、神戸市営地下鉄全26駅構内に「結核予防週間ポスター」を掲示した。

媒体	内容	配布部数
ポスター	結核予防週間	800部
パンフレット	結核の常識 2019	12,000部
結核予防会機関誌「複十字」(年6回)		1,860部

#### イ 横断幕・懸垂幕等の掲示

兵庫県庁及び財団荒田事務所において、横断幕・懸垂幕を掲示し、予防週間の周知を図った。

また、WEBバナー広告を活用した啓発も行った。

#### ウ 街頭活動

兵庫県連合婦人会等と協力して街頭活動を行い、複十字シールなどの啓発資材を配布した。

実施日	場所
9月26日(木)	JR 姫路駅周辺

#### エ 結核セミナーの開催

結核についての正しい知識の普及を図るため、セミナーを開催した。

開催日・場所	内容	参加人数
9月20日(金) 神戸ポートピアホテル	講演「日本と世界の結核事情～婦人会のカンボジアスタ ディツアーを通じて～」 (公財)結核予防会結核研究所対策支援部副部長 永田 容子 氏	355人

※ がんセミナーと併催

② 複十字シール運動募金活動等による普及啓発

兵庫県連合婦人会等関係団体の支援を得て、結核の制圧及びその他胸部疾患の予防に向けて、その活動に必要な資金を確保するための募金活動及び公益財団法人結核予防会が実施する複十字シール運動募金活動を通じて結核等に対する理解を深める啓発活動を展開した。

件数	金額
432件	1,568,090円

(参考: 上記以外の(公財)結核予防会への複十字シール運動募金 193件 1,171,555円)

③ 出版物の斡旋

結核に関する正しい知識の普及を図るため、結核予防会発行の各種専門図書を保健所、病院、個人等に広く斡旋した。

・斡旋数 25種類 613冊

(4) 疾病予防等に関する功労者の表彰

多年にわたり、公衆衛生の向上に資する事業の推進に貢献し、その功績が顕著な個人、団体を表彰した。

① がん予防功労者

氏名	職種	推薦団体
小山 賀己	医師	明石市医師会
佐野 一成	医師	たつの市・揖保郡医師会
須田 研一郎	医師	神戸市中央区医師会
山尾 直輝	臨床検査技師	公益社団法人兵庫県臨床検査技師会

② 結核予防功労者

氏名	職種	推薦団体
進藤 啓	医師	伊丹市医師会

③ 健康づくり功労者

[個人]

氏名	職種	推薦団体
荘司 康嗣	医師	伊丹市医師会
徳田 正邦	医師	尼崎市医師会
西川 光博	医師	たつの市・揖保郡医師会
福井 威志	医師	西宮市医師会
白井 美佳	栄養士	伊丹健康福祉事務所
津田 全乃	一般	たつの市
楠本 浩正	歯科医師	兵庫県歯科医師会

氏名	職種	推薦団体
梶原 啓弘	歯科医師	姫路市歯科医師会
野末 優子	歯科衛生士	兵庫県歯科衛生士会
浦上 文男	薬剤師	健康ひょうご 21 県民運動中播磨会議

〔団体〕

団体名	推薦団体
淡路歯科保健協会	洲本健康福祉事務所
特定非営利活動法人認知症予防サポートネット	健康ひょうご 21 県民運動阪神南会議

④ 母子保健功労者

氏名	職種	推薦団体
杉原 加壽子	医師	尼崎市医師会
藤見 昭代	医師	神戸市中央区医師会
三輪 知己	医師	姫路市医師会
橋本 香代子	栄養士	川西市健康政策課
坂田 富貴子	助産師	兵庫県助産師会

(5) 臓器移植の推進

① 臓器移植の普及(県補助事業)

臓器提供意思表示の普及を促すため、啓発資材を作成・配布した。

② いのちの勉強会の開催(県補助事業)

臓器移植医療に関する正しい知識の普及・啓発を行い、臓器移植の一層の定着・推進を図るため、臓器移植普及推進月間（10月）に兵庫県との共催により、看護系学生等を対象に「いのちの勉強会」を開催した。

開催日・場所	内容	参加人数
10月29日(火) 兵庫県医師会館	テーマ「LIVING WILL」～臓器提供を考える～ ・臓器移植ミニ講座 兵庫県臓器移植コーディネーター 杉江 英理子 氏 ・講演「終末期医療と臓器提供」 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 地域救急・災害医療学講座 講師 尾迫 貴章 氏 ・講演「膵腎同時移植を受けて」 臓器移植を受けられた患者様 ・総合討論「臓器移植を考える」	291人

③ 臓器移植希望者への支援(県補助事業)

臓器移植希望者の経済的負担を軽減するため、希望者の組織適合検査に要した経費の一部を助成した。

- ・組織適合検査助成 40件 400,000円

④ 骨髄移植の普及推進

骨髄移植の普及を図るため骨髄ドナー登録啓発資材を作成し、ドナー登録会や各種イベント等で活用した。

(6) 献血の促進

① 新聞媒体による広報の実施

神戸新聞紙面(朝刊)を活用し、県民に献血の重要性を呼びかけた。

- ・掲載日 4月29日(祝・月)

② 献血功労感謝のつどいの開催

兵庫県、兵庫県献血推進協議会、日本赤十字社兵庫県支部、兵庫県赤十字血液センターとの共催により、献血功労感謝のつどいを開催した。

開催日	場所	内容	参加人数
9月5日(木)	兵庫県公館	・献血功労者の表彰等 ・活動内容発表 ・誓いのことば	150人

2 専門的研究の奨励

(1) がん・腎疾患の専門的研究の奨励

がん及び腎疾患の予防と診断・治療に役立つ専門的研究の進展に寄与するため、研究奨励賞を贈呈した。

① がん研究奨励賞(総額 245万円)

氏名	所属	研究題目
上嶋 英介	神戸大学医学部 附属病院	肝癌局所療法後に生じる免疫抑制性サイトカイン 産生メカニズムの解明および阻害法の探索
後藤 慶子	神戸大学大学院 医学研究科	殺細胞性抗がん薬が胃がん細胞の免疫チェックポ イント分子に与える影響
重岡 学	神戸大学大学院 医学研究科	線維芽細胞に着目した口腔扁平上皮癌の新規病理 診断法の開発
柴田 英輔	兵庫医科大学	血管新生阻害 VEGFR2 抗体を用いた悪性胸膜中皮 腫に対する抗腫瘍免疫賦活効果の検証
土井 健史	神戸大学医学部 附属病院	癌細胞株と3次元 in vitro モデルを用いた癌の浸 潤における候補遺伝子の解明
向山 順子	神戸大学大学院 医学研究科	細胞系譜解析による早期転移性大腸癌の最適化治 療の確立

※ 題目の「癌・がん」表記は申請原文のまま。

② 腎研究奨励賞（総額 50 万円）

氏名	所属	研究題目
稲熊 洋祐	兵庫県立こども病院	小児特発性膜性腎症における THSD7A と PLA2R の関与とバイオマーカーの探索研究

(2) 結核の専門的研究の奨励

奨励該当研究なし

### Ⅲ 健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

#### 1 健診・検査の実施

##### (1) 施設健診

特定健康診査やがん検診をはじめ、学校保健安全法、労働安全衛生法等に基づく健康診断のほか、口腔健診を組み込んだ人間ドックコースの充実を図るなど、多様化する受診者ニーズに応じた人間ドックを実施し、県民の生活習慣病の予防及び早期発見を支援した。(実施団体数 1,917 団体)

健 診 種 別		令和元年度 (件)	平成 30 年度 (件)	対前年度比 (%)	
集団 検診	学 校 健 診	833	1,223	68.1	
	住 民 健 診	645	702	91.9	
	事業所健診	一般健康診断(就学・就職)	594	659	90.1
		定 期 健 康 診 断 等	15,491	15,257	101.5
	小 計	17,563	17,841	98.4	
人間 ドック	1 泊 2 日 人 間 ド ッ ク	122	99	123.2	
	半 日 人 間 ド ッ ク	5,766	5,781	99.7	
	兵庫県 2 時間人間ドック	405	413	98.1	
	脳 ド ッ ク [再 掲]	(269)	(314)	85.7	
	P E T 検 診 [再 掲]	(19)	(20)	95.0	
	胃内視鏡検査 [再 掲]	(3,185)	(3,194)	99.7	
	乳腺超音波検査 [再 掲]	(2,929)	(2,892)	101.3	
	口 腔 健 診 [再 掲]	(124)	(116)	106.9	
	レディースドック [再 掲]	(674)	(641)	105.1	
	全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診	8,698	8,574	101.4	
一 般 健 診	(8,389)	(8,223)	102.0		
一 般 健 診 + 付 加 健 診	(309)	(351)	88.0		
小 計	14,991	14,867	100.8		
ス ト レ ス チ ェ ッ ク	1,269	1,218	104.2		
合 計	33,823	33,926	99.7		

注 1)脳ドック、P E T 検診、胃内視鏡検査、乳腺超音波検査、口腔健診は、人間ドックの各コースの付加につき再掲

注 2)レディースドックは、女性専用日を利用した受診者で再掲

## (2) 出張健診

市町や地元商工会議所・商工会との連携等により、事業所従業員や被扶養者をはじめ幅広い層を対象とした健診受診機会を提供するとともに、検査項目の追加などにより、質の高い健診を積極的に推進したほか、労働安全衛生法に基づくストレスチェックや国の風しんに関する追加的対策に基づく風しん抗体検査を健診時にあわせて実施した。

また、健診日程の圧縮や検診車の効率的配車など、医療資源の効率的な活用を図り、運営改善に努めた。

### ① 学校健診（実施校数 50校、2教育委員会）

健診種別	令和元年度 (件)	平成30年度 (件)	対前年度比 (%)
結核検診	25,784	28,029	92.0
心臓検診	5,571	6,284	88.7
腎臓検診	19,614	21,732	90.3
診察・身体計測等	14,342	15,811	90.7
合計	65,311	71,856	90.9

### ② 住民健診（実施市町数 21市町）

健診種別	令和元年度 (件)	平成30年度 (件)	対前年度比 (%)	
結核検診	74,754	75,277	99.3	
特定健康診査 (生活習慣病健診等を含む)	21,214	21,237	99.9	
心電図検査	(9,190)	(8,984)	102.3	
眼底検査	(7,757)	(7,782)	99.7	
貧血検査	(15,125)	(11,795)	128.2	
胃がん検診	27,937	29,107	96.0	
肺がん検診	71,000	71,127	99.8	
大腸がん検診	21,216	21,578	98.3	
子宮頸がん検診	15,051	14,917	100.9	
乳がん検診	視触診	1,122	2,064	54.4
	マンモグラフィ	10,696	10,588	101.0
前立腺がん検診	7,524	7,667	98.1	
骨粗鬆症検診	2,541	2,686	94.6	
肝炎検査	2,456	2,494	98.5	
腹部超音波検査	12,082	14,073	85.9	
合計	267,593	272,815	98.1	

③ 事業所健診（実施団体数 2,097 団体）

健診種別		令和元年度 (件)	平成30年度 (件)	対前年度比 (%)
定期健康診断		106,714	107,608	99.2
特定健康診査		1,662	1,653	100.5
全国健康保険協会管掌 健康保険生活習慣病予防健診		28,649	27,711	103.4
ストレスチェック		47,385	54,965	86.2
特殊健康診断		18,903	18,861	100.2
がん・ 追加 検診等	胃がん検診	32,871	37,768	87.0
	肺がん検診	17,991	17,215	104.5
	大腸がん検診	59,308	58,712	101.0
	子宮頸がん検診	17,22	1,798	95.8
	乳がん検診(マンモグラフィ)	1,594	1,538	103.6
	腹部超音波検査	11,122	11,112	100.1
合計		327,921	338,941	96.7

(3) 一般診療

診療科目	令和元年度(件)	平成30年度(件)	対前年度比(%)
内科・外科・放射線科	717	765	93.7

(4) 先天性代謝異常検査（県委託事業）

検査種別	令和元年度(件)	平成30年度(件)	対前年度比(%)
代謝異常検査	27,778	28,697	96.8
TSH(クレチン症)検査	27,297	28,247	96.6

(5) 精度向上・危機管理への取り組み

① 健診精度の向上

ア 人材の育成・職員研修の実施

財団職員の資質の向上並びに正確な検査の実施と的確な判断能力の維持・向上を図るため、職員に対する研修会を実施した。

研修会名	回数	延参加人数
職員（全体）研修会・職種別分科会	2回	585人
但馬地区健診従事者研修会	1回	68人
医師研修会	1回	41人
日本消化器がん検診学会地方会（胃X線撮影技術研修）	10回	98人

## イ 精度管理委員会の開催

胸部、胃部、マンモグラフィ検診の読影精度及び心電図の記録・判定技術の向上を図るため、財団で読影・判定業務に従事する医師を対象に専門委員会を開催し、検診実施状況報告及び画像症例検討等を行った。

開催日	内 容	参加人数
12月12日(木)	マンモグラフィ専門委員会	14人
2月6日(木)	胃部エックス線画像専門委員会	23人
2月5日(水)	生理機能検査(心電図)専門委員会	5人
合 計 3回		42人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、胸部エックス線画像専門委員会は中止

## ウ 外部精度管理評価の維持

県民に信頼される健診機関であるために、全国労働衛生団体連合会、日本医師会、結核予防会等による外部精度管理調査を定期的に受審し、精度の維持・向上を図るとともに、第三者機関による認定の維持に努めた。

### 【第三者機関による認定】

- ・人間ドック健診施設機能評価認定(日本人間ドック学会)
- ・労働衛生サービス機能評価認定  
(全国労働衛生団体連合会労働衛生サービス機能評価委員会)
- ・日本消化器がん検診学会指導施設認定(日本消化器がん検診学会)
- ・マンモグラフィ検診施設画像認定(日本乳がん検診精度管理中央機構)
- ・日本臨床細胞学会施設認定(日本臨床細胞学会)
- ・人間ドック健診専門医研修施設認定(日本人間ドック学会)
- ・人間ドック健診施設保健指導実施施設認定(日本人間ドック学会)

## ② 危機管理体制の運用

受診者が安心して安全で良質な健診を受けられる環境を整えるため、リスクマネジメント推進会議等において、健診等に関する事故やヒヤリ・ハット事例を分析し、事故の未然防止・再発防止策を検討した。

名 称	構成員	内 容	開催回数
リスクマネジメント推進会議	課長等	・事故内容の分析 ・事故防止対策の検討・提案等	12回
リスクマネジメント実践担当者会議	担当職員	・事故防止対策の実行、教育の実施	12回

## ③ 情報処理体制の強化

健診結果等情報処理システムの適正な管理を行うことにより、効率的な事務処理に努めるとともに、迅速・正確かつ品質の高いサービスの提供に努めた。

#### ④ プライバシーマーク認定の維持

セキュリティレベルの向上を図りつつ、個人情報の漏洩防止に組織的に取り組むことにより、個人情報保護に係る認定制度「プライバシーマーク」（一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC））認定の維持に努めた。

（令和2年3月に8度目の更新認定）

#### (6) 計画的な車両・設備の整備

耐用年数等を考慮し策定した更新計画に基づく検診車及び医療機器等の更新整備により、健診精度の維持・向上を図った。

また、竣工後13年を経過した神戸西事務所において、防水設備等の老朽化が著しかったことから、屋上等の防水改修工事を行った。

〔主な整備内容〕

・ システム基盤ハードウェア（サーバ等）	1 式
・ 子宮頸がん標本作製機器	1 台
・ 眼底カメラ	1 台
・ 屈折計	1 台
・ 渉外車両	1 台

## 2 保健指導の実施

### (1) 特定保健指導

特定健診の結果に基づき、生活習慣を改善し健康の保持に努める必要があるとされた者に対し、生活習慣改善のための行動目標、行動計画を設定し、健康に関するセルフケアができるよう継続的に支援する特定保健指導を実施した。

・ 支援別実施実人数

	令和元年度	平成30年度	対前年度比
動機付け支援	650人	617人	105.3%
積極的支援	645人	425人	151.8%
合計	1,295人	1,042人	124.3%

※当該年度中に指導を開始した実人数を記載

### (2) 一般保健指導

人間ドックの受診者に対し、生活習慣改善の必要性などについて保健指導を実施するとともに、精密検査対象者への受診勧奨等きめ細かなアドバイスを行った。

また、健診当日に健康相談を希望する者に食事・運動などの生活習慣全般について実践的な指導を行うとともに、健診結果に基づき、運動や食生活指導を

希望する者に対して、健診事後指導や個別健康相談を行った。

	令和元年度	平成 30 年度	対前年度比
施設内事後指導	1,178 人	720 人	163.6%
出張型事後指導	3 団体/44 人	4 団体/289 人	15.2%

### 3 健康増進施設の運営

#### (1) 五色県民健康村健康道場の運営

##### ① 絶食・低カロリー食療法コース（入所）

3泊4日から、7日間、11日間、16日間、20日間コースなど、入所者の希望に応じた日数設定を行い、個々のニーズや健康状態に合わせたサービスを提供した。

	令和元年度	平成 30 年度	対前年度比
利用者数	965 人	1,020 人	94.6%
延宿泊者数	5,490 人	6,168 人	89.0%
平均宿泊日数	5.7 日	6.0 日	—

##### ② 生活習慣改善体験コース（日帰り）

県民が五色県民健康村健康道場を気軽に利用できる機会を提供するため、日帰りコースを開設した。

- ・内容 心身医学の講義、性格分析、丹田呼吸法

##### ③ 利用促進施策の実施

開設 30 周年記念事業の継続実施をはじめ、ホームページの活用やメール、ツイッター及びフェイスブック等による広報を行ったほか、年末・年始営業や期間割引の実施により、利用者の確保に努めた。

#### ア 30 周年記念事業の継続実施

##### (ア) インターネット健康大学

インターネットを活用した講義を開講し、「心身医学」を学ぶ機会を提供した。

##### (イ) リピーター割引クーポン券の発行

次回利用時に 30%割引となるクーポン券を 1 人につき 2 枚発行した。

- ・発行枚数 1,930 枚（平成 30 年度 2,040 枚）
- ・利用枚数 485 枚（平成 30 年度 514 枚）

##### (ウ) 学生割引の実施

学生を対象に利用料金の 50%割引を実施した。

- ・割引期間 4 月、7 月～9 月、3 月
- ・利用者数 20 人（平成 30 年度 14 人）

#### イ 年末・年始営業

- ・営業日 12月29日～翌年1月3日
- ・期間中の利用者数

区 分	令和元年度	平成30年度	前年度比
入所者数	39人	42人	92.9%
延宿泊者数	250人	265人	94.3%

※延宿泊者数は、上記期間の入所者が前後の期間に宿泊した日数を含む。

#### ウ 期間割引料金

- ・対象期間 11月1日～翌年1月31日（12月21日～翌年1月9日を除く）
- ・対象者 5人部屋の利用者
- ・割引額

区 分	通常料金	割引後料金	割引率
県内利用者	10,100円	7,100円	30.0%
県外利用者	10,500円		32.0%

- ・期間中の利用者数

区 分	令和元年度	平成30年度	前年度比
入所者数	88人	98人	89.8%
延宿泊者数	564人	590人	95.6%

※12月21日～翌年1月9日の通常料金期間の入所者含む。

## 4 調査研究事業の推進

### (1) 疾病罹患状況等の分析

健診事業及び精密検査実施状況の追跡調査により得られたデータを集計し、がん検診等の実施状況、発見がんの状況等を事業年報により発信した。

- ・発行部数 500部
- ・配布先 行政機関、医療関係団体他

### (2) がん登録事業（県委託事業）

#### ① がん罹患情報等の審査・整理・登録

県内医療機関等から提出されるがん罹患情報等の審査・整理・登録を行い、兵庫県のがん対策の企画立案及び評価の基礎資料として活用を図った。2016年（平成28年）診断症例からは、全国がん登録として実施している。

[全国がん登録]

- ・届出件数 64,746件
- ・届出医療機関数 187機関
- ・遡り調査登録件数 1,969件

・住所異動調査登録件数 458 件

② 全国がん登録実務者研修会の開催

病院及び指定診療所において全国がん登録業務に従事する者を対象に、全国がん登録業務の円滑な推進を目的に「全国がん登録実務者研修会」を開催した。

実施日・場所	内 容	参加人数
8月30日(金) 神戸大学医学部会館 シスメックスホール	講演「全国がん登録の届出実務(初級編)」 国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター 全国がん登録分析室長 柴田 亜希子 氏	187 人

③ がん罹患報告書の作成

地域がん登録としては最後の報告書となる「兵庫県のがん2015(平成28年)」を作成し、2015年のがん罹患及び死亡の状況等について発信した。

・発行部数 250 部